

霞キャンパスにおける情報・通信ネットワーク構想のサブLANとして

ー全学ネットワーク構築のサブLANとしてー

医 学 部	吉 永	文 隆	医 学 部	神 边
医 学 部	坪 田	信 孝	原爆放射能医学研究所	早 川
医 学 部	竹 屋	正 之	原爆放射能医学研究所	務 中
医 学 部	範 英		歯 学 部	和 田
歯 学 部			歯 学 部	卓 郎

プロジェクトの概要

本研究は全学ネットワーク(HINET)構想の一環として、霞キャンパスに位置する医学部(医学科・総合薬学科)・歯学部・原爆放射能医学研究所の情報通信ネットワークの実現を将来にわたって円滑に行うための試験的研究として実施された。具体的には以下の整備とそれにもとづく検討を行った。

- (1) 医学部基礎棟内に試行LANを整備する。
- (2) 総合情報処理センター霞分室のルーターと接続し、広域ネットワークを可能にする。
- (3) 当キャンパス内で外部との通信を介することなく利用できるコンピュータ環境として、エンジニアリングワーカステーション(EWS)を整備し、電子メール、レベルの高いプレゼン

成果の概要

一、ネットワーク機器の接続状況

霞キャンパス内の現在のネットワークの整備状況を図1に示す。この内、総合薬学科内ならびに図書館への接続はそれぞれ各自経費で整備された。本プロジェクト経費で医学部基礎棟七階にワークステーション一台並びにXTマシン四台を設置し、パソコン用ポート三セットを希望教室に配布した。その後、各研究者の申請によって接続

テーション機能、統計解析などの利用法について検討する。

- (4) 各部局の専門性に見合った情報処理教育、各講座の実習などに有用な設備としての利用方法について検討する。
- (5) 部局内ネットワークの運用・管理・保守に関する必要事項を検討する。

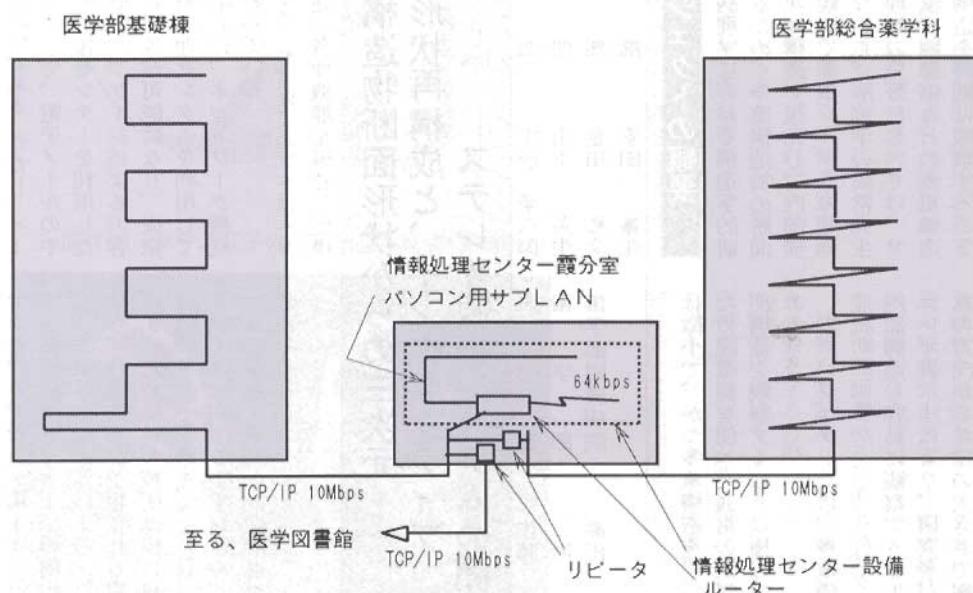


図1 霞キャンパス内におけるネットワーク整備状況